

平成18年度 第2回松山地域協議会会議録（概要）

日 時 平成18年7月13日（木） 13:30～17:03

会 場 松嶺公民館

◎出席者

1号委員	菅原 功	富樫 茂	阿部 茂	寒河江 久也	小田 和夫
	齋藤 尚	佐藤 ゆき子	須田 良		
2号委員	山中 俊	土田 迪子	齊藤 薫		
3号委員	佐藤 洋子	遠田 聡	木村 美津枝		

◎欠席者

1号委員 今田 充代

松山総合支所 支所長 平向 與志雄 地域振興課長 新館 篤  
市民福祉課長補佐 佐藤 均 建設課長 川田 進  
産業課長 難波 富也 教育振興室長 須貝 彰  
地域振興課 課長補佐兼地域振興係長 阿部 みえ  
主事 佐藤 伸 主事 乙坂 哲也

◎傍聴人 なし

議事日程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
  - ・地域づくり懇談会要望事項について
- 4 議長及び議事録署名委員選出
- 5 協 議
  - (1) 市の総合計画について
  - (2) 地域コミュニティ組織について
  - (3) 地域課題について
  - (4) その他
- 6 閉 会

1 開会・・・進行を努める地域振興課長が開会する。

2 あいさつ

(会長)

この会の発足当時、阿部市長がこの会は、合併による不安をゼロに限りなく近づけるための会と話していたことを思い出す。前回の会議では、この会の目的が見えないという意見もあった。今回の案件を見るとようやく協議会らしい内容に近づいたと感じる。

日頃より皆さんが思っていることを提案していただきたい。

(支所長)

市の行政は今、活発に動いている。行財政改革プランができ、いよいよ総合計画に着手した。松山町では、行政で作ってきた総合計画だが、新市においてはいろいろな立場の人からの考えや意見を反映させながら作成していく。市民の皆様からいろいろな意見を頂戴したいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

合併前と比べると職員に対する市民の目が厳しくなっている。今後も襟を正して職務を行っていききたい。

この間あった市民体育祭では、公民館を中心として市民の方々からご協力いただき選手団約 80 名で参加した。旧町として力を合わせて取り組み、目的である交流が十分図られたのではないかと思う。

雨の状況も気になるところだが、今日はよろしくをお願いしたい。

3 報告事項・・・地域づくり要望事項について事務局が説明。

4 議長及び議事録署名委員選出

○事務局 会議の議長を協議会設置条例第 6 条第 2 項により会長にお願いする。なお、今回の議事録署名委員を小田委員にお願いする。

5 協議・・・会長がこれより議長を務める。

(1) 市の総合計画について・・・事務局説明の後質疑

○事務局 今まで 2 回ほど開催されている酒田市総合計画審議会では山中会長と商工会会長、総合計画策定部長会議は支所長、総合計画策定課長会議は地域振興課長、総合計画策定ワーキンググループは地域振興課長補佐がそれぞれ委員となり協議を重ねている。

総合計画は概念と理念である基本構想と、基本構想の下でどういった施策を展開していくのかという基本計画に分けられる。H19 年 2 月までに基本構想を、7 月までに基本計画を策定するスケジュールとなっている。

旧町では関連性がなかった図書館の充実や中山間の振興、飛島の振興などについても意見をい

ただければ有り難い。

- 委員 この地域に限定したものを協議していくのか、それとも全体を見て検討するのかどうか。
- 事務局 委員の皆さんはこの地域の方々なので、この地域のことが主となると思うが、それだけであると協議会で話し合う総合計画の内容が薄いと考えるので、ぜひ皆様の知恵を出していただき、全体を考えて協議していただきたい。

休憩（14：50～15：05）

- 委員 地域振興の観点から、市町合併の影響で地域の消費がすこぶる減少している。合併したために商業圏が他に移ってはならないと提言する。
- 委員 支所の消耗品は本所から現物で来ると聞いたが本当か。地域に全くお金が落ちないのは問題ではないか。
- 事務局 地域づくり予算として14,000千円ほど計上されているが、消耗品費等はほとんど本所の予算にあるため、支所の維持消耗品については全てではないが本所からの現物支給となっている。
- 委員 本所での購入ルートはどうなっているのか分からないが、卸売り業者などから購入すれば経済的と思うが、地元商店は価格面を考えると大変ではないか。
- 事務局 全ての消耗品が支所管内の業者へ発注できないということではないことを理解していただきたい。例えば、夏祭りを行う団体への補助金については、その団体は松山地域の業者から購入する場合もある。
- 委員 市民体育祭の賞品が山形の業者のもので話題になった。松山にもその品物を作っている業者があるのになぜかと思った。
- 委員 地産地消という理念があるが、価格が安ければ良いということだけではないと思う。理念の基で地域活性化のため、そういうシステム構築をしていかなければならないのではないか。
- 事務局 合併により結果的には支所に予算執行の権限がなくなった。今後調整して見直して行きたい。
- 委員 今まで社会福祉協議会で担当していた事業が、社協から離れて事業展開をしていく形になった。地域のコミュニティ振興会の形態をきちんと考えていかないと、行政から離れてきた事業を受けるときに大変になると思う。

先日、松山小学校の見守り隊の意見交換会で、見守りする際のジャンパーが夏場は暑くて大変なので変わりの物が欲しいという意見をいただいたが、現時点では資金（予算）がないので、すぐには対応できないということだった。

早くコミュニティ組織を立ち上げて、防犯関係という分野で予算を組めば見守り隊の要望などへも対応できると考える。区長の仕事の負担なども考えると早急にコミュニティ組織を立ち上げる時期がきたと考える。
- 委員 山寺地域では公民館事業とコミュニティ事業を並行して進めていきたいと考えている。

旧3町では、コミュニティ振興会へ全て移行するという表現は合わないと思う。また、協力員、区長の報酬の件についても教えていただきたい。

○事務局 その考えに同感である。修正を考えていく。

報酬の件についての回答は、少々時間をいただきたい。

○委員 総合型地域スポーツクラブにおいて全て受益者負担という発想は、この地域には合わないと思う。運営の仕方に無理がある。地域格差があってもいいのではないか。

○委員 図書館の整備についてだが、松山地区住民で余目や平田地区の図書館を利用している方が相当数いる。松山地区の図書館の整備を検討していただきたい。

最近では松山についての資料も少なくなっているが、文化振興のためには人づくりがとても重要だと考えている。

先日の会議で資料として観光パンフレットをいただいたが、そこには文化伝承館の記載がされていなかった。また、フラワーガーデンのところの駐車場だが、案内標識が「砂山公園 P」となっていた。

○事務局 スポーツクラブについてだが、参加者が当初の見込みより非常に少ない状況である。軌道に乗るまでは行政が支援していかなければならないと考えている。

図書館の整備については、平田は職員がいて充実している。松山や八幡では図書の入替えなどの整備を図っているが、なかなか利用者数が伸びていない。今後、状況を見て検討していきたい。文化振興の人づくりについては、皆様から情報提供をいただきながら方向性を考えていきたい。

○事務局 案内標識についてだが、合併時の協議で公園等の名称でカタカナの名称は全て廃止し、別の名称に直すように決まり、フラワーガーデンを砂山公園に直した経緯がある。

○委員 図書カードの書き方が難しく利用者数が伸び悩んでいるのではないか。図書館利用については子供たちへの周知がまだ図られていないと思う。松山には専門職員がいないので、専門書を探している方は平田や余目に足を運んでいるようである。

○委員 子供たちの登下校についてだが、中学生は部活動が終了して暗くなってから一人で帰ることもある。スクールバスの充実という項目を入れていただきたい。松山地区だけではなく、平田や八幡地区でもこういう問題はあと思うが。

○委員 子供たちの安全確保という面からもぜひ、総合計画に盛り込んでいただきたい。

○委員 前々から中学校に強く要望しているが、動きがまったく見えない。防犯面から見て、世の中が変わってきているのに、対応が20年前と変わっていないことに不信感がある。

○委員 この問題は中学校ができた当初からの問題である。

○事務局 スクールバスの件については、他地域との調整もあるので、教育委員会につなげ検討していく。

○事務局 現行の制度で市営バスが運行している。自己負担はあるがそれに対応することは考えられないか。

○委員 中学校側からは明確な回答はなかった。

- 委員 有害図書などの問題から青少年の環境を浄化するような施策も盛り込んでいただきたい。
- 委員 将来、生産労働者が1対2の割合で高齢者を支えていかなければならないという話を聞いた。生産人口の減少は非常に大きな問題だと考える。人口が増えるような施策を冒頭に掲げてほしい。人口動態について、もう少し精査していただきたい。また、景観条例が山居倉庫に限定されているが、この地域にあった景観条例を挙げていただきたい。
- 委員 景観をつくっていく際に、酒田市には金山町に設置されているトータルコーディネーターはいるのか。
- 事務局 現在、景観計画を策定しており、職員が研修中である。  
街並み景観ガイドで旧町では取り組んでいるので、今後も取り組みを呼びかけていきたい。
- 委員 町案内を依頼され案内すると、城下町の街並みが大変良いというお話を聞く。この街並みを残していくことは大切である。
- 事務局 8月28日に夕方6時半から農村環境改善センターにて、総合計画に係わるまちづくり意見交換会が開催される。今日、話したことなどをそのときにも話していただきたい。

#### (2) 地域コミュニティ組織について・・・事務局説明の後質疑

- 委員 この資料は、公民館をコミュニティセンター化する前提で作られている。収支の比較についても、旧3町の公民館は旧酒田市内のコミセンとは運営形態が違うので、比較することができないのではないかと。
- 委員 館長より公民館からコミュニティセンターに変わった場合、ここが変わるといった資料を提出していただき、説明してもらえると、日頃から公民館事業に携わっていない委員たちも解りやすいし、協議に入りやすい。
- 事務局 旧酒田市の公民館区のコミセンでは、公民館の2階部分にコミュニティを背負っている感じで運営している。社会教育を含んだ今の形態では二枚看板の形をとらないとうまくいかない状況と考える。
- 議長 この件については、会議後に内容を精査していただき、次回会議まで地域との関わり方でどの状態がベターなのか考えてきて欲しい。

#### (3) その他

- 委員 生涯学習だよりの内容についても協議していかなければならないのではないかと。
- 事務局 生涯学習だよりは半年に1回出ているが、教育委員会及び行政管轄のものは調整している。ただ、スポ少などの外郭団体の行事まで調整するのは難しい。
- 委員 この会議は公開が原則だが、協議会だよりの中で、発言者名を記載することについていかがか。
- 委員 名前なしで良いと考える。
- 議長 次回のテーマは、地域づくり予算、コミュニティ振興についてとする。